

令和7年度 泉区ジュニアリーダー初級研修会（報告）

日 時	令和7年10月25日（土）8:30～17:00
場 所	泉区中央市民センター 多目的ホール・第1会議室
主 催	仙台市教育委員会、仙台市嘱託社会教育主事研究協議会、泉区中央市民センター
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生に対し、青少年のボランティア活動をとおして、地域の子ども会活動の活性化を図るために必要な基本的な知識と技術を習得する機会を提供する。 ・区内のジュニアリーダー相互と、新たにジュニアリーダーに加わる受講生との親睦を図り、今後の活動への意欲を高める。
講義名 及び講師	<p>【開講式】 司会：仙台市立七北田小学校 井上 孝徳 教諭（仙台市嘱託社会教育主事研究協議会） 挨拶：仙台市立七北田小学校 石川 智之 校長（仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）</p> <p>【講義1】「ジュニアリーダーの活動について」（90分） ダブルダッチサークル「ロコピ」 ヤッチ、ミッツ、リサ</p> <p>【講義2】「子ども会とプログラムについて」（75分） 仙台市立北中山小学校 竹内 一馬 教諭（仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）</p> <p>【講義3】「安全に活動するために」（45分） 仙台市立野村小学校 及川 勝成 校長（仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）</p> <p>【講義4】「子ども会とレクリエーション」（90分） 仙台市立将監中央小学校 鈴木 峻 教諭（仙台市嘱託社会教育主事研究協議会） 仙台市立黒松小学校 今野 友明 教諭（仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）</p> <p>【閉講式】 司会：仙台市立七北田小学校 井上 孝徳 教諭（仙台市嘱託社会教育主事研究協議会） 講評：仙台市立野村小学校 及川 勝成 校長（仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）</p>
受講生	ジュニアリーダーとして活動している15名
サポート ジュニアリーダー	（七北田 JL サークルありす）おにぎり、ねむちゃむ（根住s）あんこ、おもち（AMY Y）しろくま、ぽてまる、ディズ（南中山巣子っぷ）いな、ほの、ちゃか

01. 受付

あたたかな笑顔で出迎えるサポートジュニアリーダーに見守られながら、受講生の皆さんが受付を済ませていきます。



02. 開講式

サポートジュニアリーダーによるアイスブレイクや挨拶の言葉を聞きながら真剣な表情で参加している受講生の皆さん。

03. 講義 1

以前ジュニアリーダーとして活動していたダブルダッチサークル「ロコピ」のメンバーによるジュニアリーダーの役割や心構えに関する講義。



04. 講義 2

要請先でレクリエーションを行う際のポイントなどに関して、サポートジュニアリーダーに実演も交えながら研修を受講しました。



05. 昼食

サポートジュニアリーダーと一緒に昼食を取りながら、楽しい時間を過ごしていました。



06. 講義 3

要請先での活動における危険予知トレーニング（KYT）に関する講話を聞きながら、会場内の危険な場所などを確認しながら「おい！大変だ」のレクリエーションを行いました。



07. 講義 4

研修で学んだレクリエーションの中から1つを選んで、他の受講生を要請先のこどもに見立てながら実演してみるという活動を行いました。



08. 閉講式

「南中山巣子っぷ」のまめと「みちのく松陵」のハチが感想発表を行い、野村小学校及川校長から講評をいただきました。最後に泉区内ジュニアリーダーサークル「ざわざわ森」定例会への参加を呼び掛けました。



受講生が語る「学びの一步」

ジュニアリーダーに興味を持ったきっかけは？

小学生の時にイベントに参加して、すごいなと思ったから。

ジュニアリーダーの役割について学んだことは？

子どもだけでなく地域の大人もサポートする役割があること。

活動プログラムづくりで大事なキーワードは？

「^{ほうれんそう}報連相」「5W1H」「静→動→静」を意識すること。



受講者

(七北田 JL サークルありす)：からめる、なたあ
 (根住s) おそば
 (みちのく松陵) ハチ、本
 (寺岡流星サークル) とうふ、みづき
 (AMY) いっしー、ラムネ、つばっち、ライナー
 (将監くれよん) あいり
 (南中山巣つぷ) まめ、なる
 (ワンマイル荒町) ちっぷ

レクリエーションの構成で大事なことは何でしたか？

活動と活動をつなげる「ストーリー」が重要であること。

子どもとコミュニケーションを図るときのポイントは？

アイスブレイクをしながら参加者の緊張をほぐしてあげること。

これからの要請で意識していこうと思ったことは？

子どもたちの手本として行動していくこと。

支えることで見えた「新しい景色」

自分が担当した受講生が堂々とレクリエーションを進めていたのがうれしかった。

最初は緊張していた受講生が発言したり、笑顔で活動に参加したりするようになった。



サポートジュニアリーダーの盛り上げに答えてくれたとき。

受講生自身が一人一人声を出しながら楽しんでレクリエーションを進めていたとき。

各学校及び各地区市民センターにおきましては、研修会開催にあたり多大なご協力・ご支援をいただきありがとうございました。

今後とも、ジュニアリーダー育成へのご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。